

住み続けたい街に するために

半田市を住み続けたい街にするために
私たちにできることは何だろう。

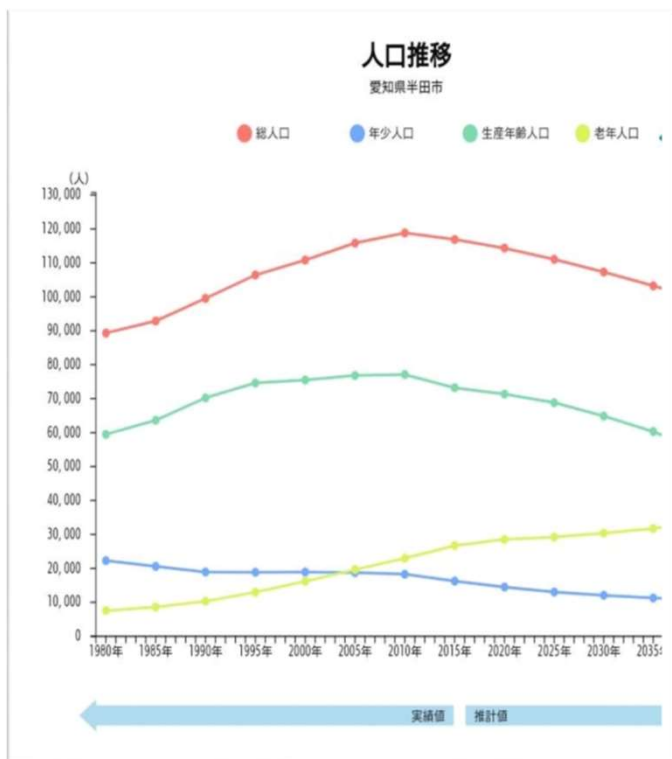
目次

1. 研究動機
2. 半田市の現状
3. 仮説
4. 現状を踏まえた解決策
5. 高校生の私たちにできること
6. まとめ

研究動機

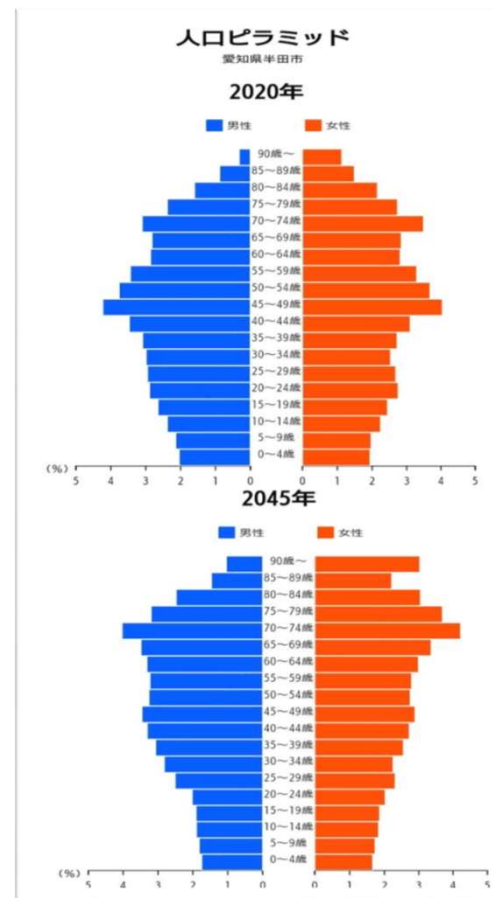
- ・半田市の活性化に貢献したいと思ったから。
- ・半田市の活性化によって、周りの地域にも良い影響が出ると考えられるから。

半田市の現状について



年少人口
生産年齢人口 → 減少

老年年齢人口
転入・転出数 → 増加



問題点

- ・広い学習スペースが半田図書館にしかない。
- ・交通の便が悪い。

原因→バス停の整備不足、
半田中央線のバスの本数の少なさ



仮説

半田市の現状

交通の便が悪い、学習スペースが少ないなどの様々な問題がある。

解決方法

問題を解決するには資金が必要なので、まずは資金を集める必要がある。

解決策

1. 学習スペースが少ないことについて

空き家を市が引き取り、学習できる場にする。

→学習だけでなく、地域の人との交流の場としても使用できる。

2. 資金集めについて

ふるさと納税の有効活用をする。

半田市は愛知県内で畜産・農業のトップを争う。
特に知多肉は全国的にアピールできる。

知多牛は全国的にみると知名度が低いため、
まずは名を広げる必要がある。

知名度を上げるために

半田市 … 牛のイメージ

↳ 若年層による飼育が多く、
売り上げの増大が期待できる。

- 『黒牛の里』創業当初のように
移動販売を行う。
- オンライン販売のサイトを整える。

高校生にできること

知多牛の名を広めるために

文化祭で宣伝をし、話題を集める。
知多牛のポスターを作成する。

子供にとって住みやすい街にするために

半田市のそれぞれの科の高校の生徒が各学科の魅力を伝え、進路選択の手助けをする。

参考文献

半田市公式ホームページ

RESAS 地域経済分析システム

みんなの農業広場

ご清聴ありがとうございました。